空中レヴュー時代（1933）

FLYING DOWN TO RIO

メディア 映画
ジャンル ミュージカル
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 89分
初公開日 1934/05
公開情報 劇場公開

【解説】

南米リオを舞台に、ラテン系美人と、彼女に恋したバンド・リーダー、そして彼女の婚約者の三角関係を描く、Ｄ・リオとＧ・ロジャース主演の“唄あり踊りあり”のロマンス映画。この“唄と踊り”の部分が、その他の要素が色あせても、いまだ観客を惹きつけ続けている。なぜなら、そこにアステア＆ロジャースの存在があるからだ。Ｖ・ユーマンスによる挿入歌“カリオカ”に合わせタップを踏む二人。初めてコンビを組んだ彼らのスター性に気づいたＲＫＯは、以後八本の彼らの主演作を立て続けに製作する。バスビー・バークレイを意識した、複葉機の翼上でのレビューも圧巻のクライマックスだ。

【クレジット】

監督	ソーントン・フリーランド	Thornton Freeland
製作	メリアン・Ｃ・クーパー	Merian C. Cooper
原作	ルイ・ブロック	
脚本	シリル・ヒューム	Cyril Hume
	Ｈ・Ｗ・ハネマン	H.W. Hanemann
	アーウィン・ゲルシー	Erwin Gelsey
撮影	Ｊ・ロイ・ハント	J. Roy Hunt
作詞	エドワード・エリシュー	Edward Eliscu
	ガス・カーン	Gus Kahn
音楽	ヴィンセント・ユーマンス	Vincent Youmans
	マックス・スタイナー	Max Steiner
出演	ドロレス・デル・リオ	Dolores del Rio
	ジンジャー・ロジャース	Ginger Rogers
	フレッド・アステア	Fred Astaire
	ジーン・レイモンド	Gene Raymond

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.